

令和6(2024)年度

岡山県立大学大学院  
デザイン学研究科  
(修士課程)

学生募集要項

(秋季・冬季募集)



岡山県立大学大学院デザイン学研究科（修士課程）は、デザイン工学専攻、造形デザイン学専攻で構成されています。

出願に際しては、専攻及び領域の内容を熟読の上、所定の期日までに出願書類を提出してください。

### 入学者選抜日程等の概要

#### 1 秋季募集

事 項	日 程 ・ 該当者 ・ 試験会場等
障害等のある入学志願者の事前相談	令和 5 年 9 月 8 日（金）まで
出願資格の審査書類の提出	令和 5 年 9 月 15 日（金）まで （注）対象者は、2 頁の 2 の出願資格⑧、⑨又は⑩に該当する者（一般入試・特別入試(外国人留学生)共通） 志望する専攻の専攻長及び指導を希望する教員との面談を事前に済ませておくこと。
指導希望教員との面談	令和 5 年 9 月 15 日（金）まで（本学を卒業見込みの者を除く。）
出 願 期 間	令和 5 年 9 月 25 日（月）～令和 5 年 9 月 29 日（金）
試 験 日： 会 場	令和 5 年 10 月 19 日（木）：岡山県立大学
合 格 者 発 表	令和 5 年 11 月 1 日（水）
入 学 手 続	令和 5 年 11 月 9 日（木）～令和 5 年 11 月 13 日（月）

#### 2 冬季募集

事 項	日 程 ・ 該当者 ・ 試験会場等
障害等のある入学志願者の事前相談	令和 5 年 12 月 4 日（月）まで
出願資格の審査書類の提出	令和 5 年 12 月 11 日（月）まで （注）対象者は、2 頁の 2 の出願資格⑧、⑨又は⑩に該当する者（一般入試・特別入試(外国人留学生)共通） 志望する専攻の専攻長及び指導を希望する教員との面談を事前に済ませておくこと。
指導希望教員との面談	令和 5 年 12 月 11 日（月）まで（本学を卒業見込みの者を除く。）
出 願 期 間	令和 5 年 12 月 18 日（月）～令和 5 年 12 月 22 日（金）
試 験 日： 会 場	令和 6 年 1 月 18 日（木）：岡山県立大学
合 格 者 発 表	令和 6 年 1 月 26 日（金）
入 学 手 続	令和 6 年 3 月 14 日（木）～令和 6 年 3 月 15 日（金）

# 目 次

I	岡山県立大学大学院デザイン学研究科の入学受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)	1
II	岡山県立大学大学院デザイン学研究科(修士課程)学生募集要項	
1	募集人員	2
2	出願資格	2
3	出願手続	3
4	試験日等	8
5	合格者発表	10
6	入学手続	11
7	初年度納付金	12
8	学位記に付記される分野の名称	13
9	社会人の履修について	13
10	安全保障輸出管理について	13
11	奨学金及び授業料の減免等について	13
12	個人情報について	13
III	岡山県立大学大学院デザイン学研究科(修士課程)の案内	14
IV	試験会場の配置図及び案内図	19

## <重要なお知らせ>

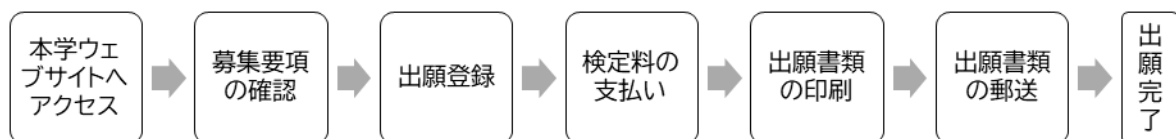
新型コロナウイルス感染症の影響により、入試日程や実施方法が変更となる可能性があります。出願の際には本学ウェブサイトに掲載する最新の情報をご確認ください。

## <出願方法(インターネット出願)>

岡山県立大学では、志願者の利便性向上及び入試業務の効率化を図るため、パソコン・タブレット・スマートフォン等を利用したインターネット出願を導入しています。

インターネット出願を利用することにより、出願期間中は24時間いつでも出願登録ができます。

なお、卒業証明書等、出願期間中に郵送が必要な書類があるので、ご注意ください。



## I 岡山県立大学大学院デザイン学研究科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

---

### デザイン学研究科の入学者受入れの方針

---

デザイン学研究科は、問題の本質を情報分析に基づく幅広い知識により、計画・設計し、感性と技術によりカタチにする表現を行います。

問題解決に結びつけるグローバルな視野と感性を持ち、地域社会を的確にとらえ時代の変化を洞察することで、将来予想される問題を優れたデザインの創出により解決し、豊かで新しい便利な生活と文化に寄与できる人材の育成を目指しています。

デザイン学研究科では上記記載の人材を国内のみでなく海外からも選抜できるよう、秋季募集と冬季募集においてそれぞれ一般入試と特別入試を実施し、各専攻のアドミッション・ポリシーに示した選抜を行っています。

---

### デザイン工学専攻（修士課程）の入学者受入れの方針

---

デザイン工学専攻は、地域社会と産業界の要請に応えられる、高度な専門的知識・技能・技術をベースにした総合的な思考力を有する高度専門職業人として多様な創造価値が可能なデザイナー及び研究者の育成を目指しています。

デザイン工学専攻では教育目標に掲げる人材を育成するために、幅広い分野において、知識に基づく多面的な思考力・判断力・表現力を身に付け、既成概念にとらわれず、個性的で、物事の本質を観ようとする自主性を求めます。

特に、最新技術と伝統との融合による総合的なデザイン力を持ち、地域や社会の持続的発展に貢献しようとする強い意欲を求めます。

また、国際的な視野と感覚を持ち、高度専門職業人に求められる高い倫理観などの素養を身に付けていることを求めます。

一般入試・特別入試ともに、小論文により幅広い分野において、知識に基づく多面的な思考力・判断力を評価し、作品及びポートフォリオにより、計画力、技術、表現力を評価します。

また、面接により、国際的な視野と感覚を持ち、高度専門職業人に求められる高い倫理観などコミュニケーション力、主体的・協動的に研究に取り組む態度を評価します。

---

### 造形デザイン学専攻（修士課程）の入学者受入れの方針

---

造形デザイン学専攻は、デザインの専門知識と技能、技術を活用して論理的思考に基づき、新たな造形デザイン構築において諸問題を総合的な視点から解決し、社会に貢献することのできる高度専門職業人及び研究者の育成を目指しています。

造形デザイン学専攻では教育目標に掲げる人材を育成するために、幅広い分野において、知識に基づく多面的な思考力・判断力・表現力を身に付け、造形や構成などの特性を、柔軟な発想と集積した知識によって分析し、独創的なデザイン力を身に付けていることを求めます。

特に主体性と問題意識を持って造形デザインが担うべき役割を探求する態度を持ち地域や社会の持続的発展に貢献しようとする強い意欲を求めます。

また、国際的な視野と感覚を持ち、高度専門職業人に求められる高い倫理観などの素養を身に付けていることを求めます。

一般入試・特別入試ともに、小論文により幅広い分野において、知識に基づく多面的な思考力・判断力を評価し、作品及びポートフォリオにより、計画力、技術、表現力を評価します。

また、面接により、国際的な視野と感覚を持ち、高度専門職業人に求められる高い倫理観などコミュニケーション力、主体的・協動的に研究に取り組む態度を評価します。

## II 岡山県立大学大学院デザイン学研究科（修士課程）学生募集要項

### 1 募集人員 (人)

専攻	入学定員	募集人員		備考
		秋季募集	冬季募集	
デザイン工学専攻	7	5	2	左記の募集人員は、一般入試、特別入試(外国人留学生)の合計人数です。
造形デザイン学専攻	9	6	3	
計	16	11	5	

### 2 出願資格

#### (1) 一般入試

次のいずれかに該当する者とします。

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する大学を卒業した者及び令和6年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和6年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑧ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると学長が認めたもの
- ⑨ 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者で、令和6年3月31日までに22歳に達するもの
- ⑩ 令和6年3月31日において大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、所定の単位を優秀な成績で修得したと学長が認めたもの

(注) 出願資格⑧、⑨又は⑩により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の審査を行います。  
(3の出願手続(9)参照)

#### (2) 特別入試（外国人留学生）

次のいずれにも該当する者とします。

- ① 2の(1)の①～⑩までのいずれかに該当する者
- ② 日本の国籍を有しない者で、かつ、出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学手続後に「留学」の在留資格を取得できる者
- ③ N2レベル以上に相当する日本語能力を有することが望ましい。

### 3 出願手続

#### (1) 出願方法

出願は、インターネット出願（インターネットによる出願登録、検定料支払い及び出願書類の郵送）のみとします。本学ウェブサイトに掲載している「インターネット出願ガイド」をよく読んで出願手続を行ってください。

インターネットによる出願登録及び検定料支払いが完了したら、(4)の出願書類等を一括して角形2号(縦332mm×横240mm)の封筒に入れ、簡易書留速達扱いの郵送により提出してください。

ただし、(2)の各募集の出願期間最終日に限り、直接持参を認めます。なお、受付開始時刻は9時とし、受付終了時刻は17時とします。また、直接持参の場合は、持参する前日までに、本学教学課入試班までご連絡ください。

なお、出願時に海外に在住する者は、本学から書類を送付するための「日本国内の連絡先」を設定してください。（日本国内の連絡先がない場合は、この限りではありません。）

#### (2) 出願期間

秋季募集	令和5年9月25日(月)から令和5年9月29日(金)まで
------	------------------------------

(注) 9月30日(土)以降に到着したものは、9月28日(木)までの発信局消印のある「簡易書留速達郵便」に限り有効とします。

冬季募集	令和5年12月18日(月)から令和5年12月22日(金)まで
------	--------------------------------

(注) 12月23日(土)以降に到着したものは、12月21日(木)までの発信局消印のある「簡易書留速達郵便」に限り有効とします。

##### <各募集共通の注意事項>

- 1 上記の「発信局消印」とは日本国内の郵便局消印を指しますので、外国から郵送する場合は、出願期間中に本学に到着するよう所要日数を十分に考慮して発送してください。
- 2 出願書類の到着確認の問い合わせについては、本学では回答できません。配達状況は、日本郵政のウェブサイト等の郵便追跡サービスの利用又は郵便局へのお問い合わせによりご確認ください。

#### (3) 出願先

〒719-1197 岡山県総社市窪木111番地  
岡山県立大学事務局教学課入試班

#### (4) 出願書類等

出願に必要な書類等	作成方法
① 志願票(原票)	インターネットでの出願登録及び検定料の支払いが完了したら、「インターネット出願ガイド」を参照のうえ印刷し、提出してください。 「志望領域」について、Ⅲの岡山県立大学大学院デザイン学研究所(修士課程)の案内を参照の上、志望する領域名を記入してください。但し、造形デザイン学専攻は、造形デザイン学領域のみとなります。 「出願の承諾を得た教員名(指導希望教員名)」の欄には、(6)を参照の上、事前に面談を行い、出願の承諾を得た教員名を記入してください。 ただし、本学を卒業見込みの者は指導希望教員名を記入してください(事前面談の必要はありません)。

② 卒業(見込)証明書 (厳封したもの)	出身大学の学長又は学部長が作成し、 <b>厳封したもの</b> 。 なお、 <b>本学を卒業した者及び卒業見込みの者は提出の必要はありません</b> 。
③ 成績証明書 (厳封したもの)	出身大学の学長又は学部長が作成し、 <b>厳封したもの</b> 。 在学中に単位修得した全ての授業科目の成績が記載されたものを提出してください。
④ 履歴書	<b>本学所定の様式</b> を使用し、入学志願者本人が記入してください。 なお、「志望領域名」には、志願票(原票)に記入した領域名を記入してください。 「学歴」について、外国の学校教育における16年又は15年の課程を修了した者及び修了見込みの者は、小学校入学から記入してください。 出願時に海外に在住する者は、「海外の住所」を現住所(通信先)に、設定された「日本国内の連絡先」を緊急連絡先に記入してください。 「外国語能力」について、外部評価スコア・資格等(TOEIC Listening & Readingテスト・英検など)を取得している場合は、その内容と取得年月日を記入のうえ、証明書等の写しを添付してください。
⑤ 研究計画書	<b>本学所定の様式</b> を使用し、入学志願者本人が記入してください。 なお、「志望領域名」には、志願票(原票)に記入した志望領域名を記入してください。
⑥ 作品制作意図	<b>本学所定の様式</b> を使用し、入学志願者本人が記入してください。
⑦ その他	ア 特別入試(外国人留学生)については、日本語能力を証明することができる書類を有している場合はその写しを提出してください。 イ 外国人の入学志願者は、市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明示した「住民票の写し」を提出してください。市区町村に住民登録をしていない者は、パスポートの本人の氏名、生年月日及び性別の部分の写しを提出してください。 ウ 2の出願資格(1)の②により出願する者は、次の区分により必要書類を提出してください。 (ア) 学士の学位を授与された者 ・大学改革支援・学位授与機構が発行した学士の学位授与証明書 (イ) 大学改革支援・学位授与機構に学士の学位の授与を申請中の者 ・大学改革支援・学位授与機構が発行した学士の学位授与申請受理証明書 (ウ) 学位規則(昭和28年文部省令第9号)第6条第1項の規定により大学改革支援・学位授与機構が定める要件を満たすものとして認定を受けた専攻科に在籍する者 ・専攻科の修了見込証明書 ・当該者が学士の学位授与を申請する予定であることを証明する当該者の在籍する短期大学長又は高等専門学校長の証明書

(注1) 出願に必要な書類等のうち、④～⑥の**本学所定の様式**は、本学ウェブサイトからダウンロードできます。出願書類について、手書きする場合は、黒ボールペンで記入してください。書き間違えた場合は、二重線で消して正しい内容を横に書いてください。

(注2) 本学所定の様式の中の※印欄には何も記入しないでください。

(注3) 出願に必要な書類のうち、外国語(英語を除く。)で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

(注4) 外国の大学が発行した証明書の原本の返却を希望する者は、出願書類等を提出する際にその旨を申し出てください。原本を本学でコピーして返却します。

## (5) 検定料

### ① 検定料

30,000円

### ② 支払方法

インターネット出願の手順に従い、所定の支払い方法から検定料の支払いを行ってください。  
支払い方法は以下のとおりです。

ア コンビニエンスストア払い

イ クレジットカード決済

ウ 銀行ATM（ペイジー支払い対応銀行）／ネットバンキングでの支払い

※各種支払いにかかる手数料は、入学志願者の負担となります。

### ③ 納付期間

ア 秋季募集：令和5年9月25日(月)～令和5年9月29日(金)

イ 冬季募集：令和5年12月18日(月)～令和5年12月22日(金)

### ④ 検定料の返還

納付された検定料は、次のアからウまでの場合を除き返還しません。返還する場合の返還額は検定料相当額とします。検定料の返還は納付した者からの請求に基づき行いますので、該当者は本学教学課入試班へ連絡し、当該試験日の属する月の月末までに必要な手続きをとってください。イの場合は本学教学課入試班から該当者に連絡します。

ア 検定料を納付したが、出願しなかった場合

イ 検定料を納付したが、出願が受理されなかった場合

ウ 検定料を誤って二重に納付した場合

### ⑤ 特例措置

東日本大震災又は平成30年7月豪雨の被災者に対する検定料全額免除の特例措置があります。検定料減免を希望する場合は、**出願登録前に必ず**本学教学課入試班へ連絡し、**出願期間前**に必要な書類を提出してください。詳しくは本学ウェブサイトをご覧ください。

## (6) 指導希望教員との面談

本学を卒業見込み以外の者は、デザイン学研究科修士課程の具体的な研究内容等を知っていたくため、下記の期日までに指導を希望する教員へ連絡し、必ず面談を行ってください。また、指導を希望する教員に出願の承諾を得てから出願してください。

### ① 面談期日

ア 秋季募集：令和5年9月15日(金)

イ 冬季募集：令和5年12月11日(月)

### ② 指導可能教員（※令和6年度予定のため変更になる可能性あり。）

(デザイン工学専攻)

領域名	教員名
製品・情報デザイン学領域	三原鉄平教授、南川茂樹教授、舩山俊克准教授
建築・都市デザイン学領域	津田勢太教授、西川博美教授、福濱嘉宏教授、向山徹教授、吉田豊教授、岡北一孝准教授

(造形デザイン学専攻)

領域名	教員名
造形デザイン学領域	河合大介教授、北山由紀雄教授、齋藤美絵子教授、島田清徳教授、関崎哲教授、野宮謙吾教授、風早由佳准教授、作元朋子准教授、西田麻希子准教授、真世土マウ准教授、



## (7) 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、下記の期日までに本学教学課入試班へ連絡し、相談してください。なお、受験上及び修学上の配慮事項についての決定通知があるまでは出願登録しないでください。相談の内容によっては、対応に時間を要することがあり、本学の試験までに対応できず特別な配慮が講じられないこともありますので、**できるだけ早い時期に**相談してください。

申請にあたっては、「岡山県立大学大学院入学者選抜試験の出願に関する協議書」を作成のうえ必要書類を添付し、本学教学課入試班へ郵送により提出してください。詳しくは本学ウェブサイトをご覧ください。

- ① 秋季募集：令和 5 年 9 月 8 日（金）
- ② 冬季募集：令和 5 年 12 月 4 日（月）

## (8) 出願手続上の注意事項

- ① 出願期間内に出願に必要な書類を提出し、本学で書類に不備がないことが確認されることにより、出願手続き完了となります。出願に必要な書類等がそろっていない場合は受付できませんので十分確認してください。
- ② 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願受付後に出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学教学課入試班へ連絡してください。
- ④ 受付をした出願書類は返還しません。
- ⑤ 出願時に海外に在住する者で「日本国内の連絡先」を設定した者への書類は、当該連絡先に送付します。

## (9) 出願資格の審査

2の出願資格(1)の⑧、⑨又は⑩により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の審査を行いますので、次の必要書類を下記の期日までに本学教学課入試班へ提出してください。資格審査の結果は申請者あて通知します。

なお、書類を提出するにあたっては、事前に志望する専攻の専攻長及び指導を希望する教員との面談を済ませておいてください。

- ① 秋季募集：令和 5 年 9 月 15 日（金）
- ② 冬季募集：令和 5 年 12 月 11 日（月）

必要書類	作成方法
① 出願資格認定申請書	本学所定の様式を使用し、必要事項を漏れなく記入してください。
② 卒業証明書 (厳封したもの)	出願資格⑨に該当する者 最終出身校が作成し、 <b>厳封したもの</b>
③ 成績証明書 (厳封したもの)	ア 出願資格⑧に該当する者 在籍する大学院の研究科長等が作成し、 <b>厳封したもの</b> イ 出願資格⑨に該当する者 最終出身校が作成し、 <b>厳封したもの</b> ウ 出願資格⑩に該当する者 在籍する若しくは在籍した大学の学長又は学部長が作成し、 <b>厳封したもの</b> （修得科目名、単位数及び評語が記載され、成績順位を付けている大学・学部にあつては、その順位も記載されたもの） 在学中に単位修得した全ての授業科目の成績が記載されたものを提出してください。

④ 単位修得見込証明書	出願資格⑩に該当する者のうち、出願時に大学に在籍している者 在学学科等で3年次までに修得見込みの単位数が分かるもの
⑤ 在学証明書	出願資格⑧又は⑩に該当する者（ <b>本学在学者は提出不要</b> ）
⑥ 履修便覧、学生便覧、 教育課程表等	出願資格⑩に該当する者（ <b>本学在学者は提出不要</b> ） 在学学科等の卒業に必要な単位数、授業科目の内容、開講科目の講義内容等が詳細に記載されたもの
⑦ 業績調書	出願資格⑨に該当する者 <b>本学所定の様式</b> を使用し、短期大学、高等専門学校、専修学校等の卒業（修了）後における学習、研究、実務経験等を記載すること。

(注1) **本学所定の様式**は、本学ウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

(注2) 出願資格が認定された場合の出願書類について、②及び③の書類は省略することができます。

(注3) 出願資格⑩により出願を希望する者は、次の要件を満たす必要があります。

- (1) 2年次までに、共通教育科目(教養科目)の卒業要件単位を修得していること。
- (2) 2年次までに開講された学部教育科目(専門科目)の必修科目の単位を修得していること。
- (3) 2年次までに修得した卒業要件単位の8割以上が、100点満点評価における80点以上の評価であること。
- (4) 3年次までに修得見込みの単位数が、卒業要件単位数から4年次に開講される必修科目の単位数を除いた単位数以上であること。

なお、入学者選抜試験に合格し、入学手続きが完了した後であっても、令和6年4月1日(月)時点で次のいずれかに該当する場合は、入学を許可しません。

- (1) 3年次までに修得した単位の8割以上が100点満点評価における80点以上の評価を得られない場合
- (2) 3年次までに修得した単位数が、卒業要件単位数から4年次に開講される必修科目の単位数を除いた単位数未満である場合

また、出願資格⑩により入学する場合は、大学生としての学籍上の身分は退学となり、大学卒業が要件となる各種国家試験の受験資格等がなくなりますので、十分に注意してください。

#### 4 試験日等

##### (1) 試験日

秋季募集	令和 5 年 10 月 19 日 (木)
冬季募集	令和 6 年 1 月 18 日 (木)

##### (2) 選抜方法

入学者の選抜は、小論文、作品及びポートフォリオ審査、面接（書類審査を含む。）の結果を総合して行います。

##### (3) 試験科目・時間割

時間割	試験科目及び内容	
10:00～12:00 (120分)	小論文	デザインをテーマとする小論文 (日本語による記述回答)  ○辞書使用可(電子辞書可。ただし、その他の機能を持つ電子辞書は除く。)
13:30～	面接	

(注1) 受験者は、小論文は9時45分までに、面接は13時15分までに指定された試験室（面接にあっては面接控室）に入室し、着席してください。試験室及び面接控室は、試験当日、試験会場の掲示により指定します。

なお、作品及びポートフォリオの提出場所及び時間は、(4)を参照してください。

(注2) 小論文及び面接の開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。

(注3) 試験開始後は、終了するまで試験室から退室できません。

(注4) 面接の終了時刻は、入学志願者数によって変更になる場合があります。

(注5) 小論文、作品及びポートフォリオ、面接のいずれか一つでも受験又は提出しない者は、入学者選抜の対象から除きます。

##### (4) 作品及びポートフォリオについて

作品及びポートフォリオは、試験当日の9時15分から9時40分の間に、直接持参により提出してください。

提出場所は、本学ウェブサイトにて通知いたします。

デザイン工学専攻 (領域共通)	「自作1点もしくは連作一式」(作品制作意図に記入した作品)及び「自作3点以上を収録したポートフォリオ」
造形デザイン学専攻	「自作1点もしくは連作一式」(作品制作意図に記入した作品)及び「自作3点以上を収録したポートフォリオ」 作品は ○持ち込み可能な大きさ ○動画はDVDビデオ(DVD)若しくはMPEG-4(データCD又はDVD) ○Web等は最新のウェブブラウザで閲覧可能なもの(データCD又はDVD)

## (5) 配点

専攻	入試区分	小論文	作品及びポートフォリオ	面接	配点合計
デザイン工学専攻	一般入試	100	100	100	300
	特別入試	50	100	150	300
造形デザイン学専攻	一般入試	100	100	100	300
	特別入試	50	100	150	300

(注) 書類審査は面接評価に含まれます。

## (6) 試験会場

〒719-1197 岡山県総社市窪木111番地 岡山県立大学 デザイン学部棟

## (7) 受験上の注意事項

### ① 試験当日の持参物について

ア 受験票について、試験の5日前までに印刷が可能になった旨のお知らせを本学ウェブサイトへ掲載するとともに、同じ内容をインターネット出願システムに登録されたメールアドレスにも送信しますので、受験票を印刷のうえ持参してください。(A4用紙、カラー、ページの拡大・縮小はしない。)

なお、メールが受信できていなくても本学ウェブサイトにも上記のお知らせが掲載されていれば、受験票の印刷は可能です。

また、試験の5日前を過ぎても受験票印刷ボタンが表示されない場合は、本学教学課入試班へ連絡してください。

イ 受験票は、試験実施時に、指示に従って試験監督者に明示できるよう机の上に置いてください。当日に受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で受験票の交付又は指示を受けてください。

受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。

ウ 受験票のほかに小論文の時間中に机の上に置けるものは、黒鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴム、鉛筆キャップ、鉛筆削り(電動式を除く。)、時計(時計表示機能のみで、秒針音のしないもの)、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)、目薬、辞書、指サックです。電子辞書の場合は通信やネット接続など辞書機能以外の機能を持たないものに限りません。これ以外のものを置いている場合は、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

エ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類(辞書機能のみの電子辞書を除く。)は使用できませんので、試験室(面接にあつては面接控室)に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、かばん等にしまい身に付けしないでください。なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、実施本部で当該試験時間終了まで保管します。

オ 試験監督者が受験者の顔の確認を行います。「マスク」や「帽子」を着用している場合、本人確認のため、一時的に外すよう試験監督者が指示することがあります。

カ 試験室(面接にあつては面接控室)における受験者間の物品の貸借は一切認めません。

キ 面接控室では、待機中の読書(教科書やメモも可とする。ただし電子書籍を除く。)や水分補給を認めますが、待機中に本や水筒等をかばん等から取り出すときは、必ず試験監督者の許可を受けてください。

ク 必要に応じて昼食を持参してください。試験当日、学生会館内の食堂は利用できません。

ケ 試験会場における忘れ物について、試験実施日から一定の期間は本学で保管します。一定の期間を過ぎた後は廃棄しますので、あらかじめご了承ください。

② 不正行為について

ア 不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなり、全ての試験成績が無効となります。また、不正行為の内容によっては、警察に被害届を提出する場合があります。

なお、次のことをすると不正行為となります。

- ・ 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること。
- ・ カンニングをすること。
- ・ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ・ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ・ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・ 「解答始め。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類（辞書機能のみの電子辞書を除く。）を使用すること。
- ・ 「解答やめ。」の指示に従わず、解答を続けること。

イ 上記ア以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記アと同様です。

- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類（辞書機能のみの電子辞書を除く。）をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
- ・ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ・ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ・ 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ・ 試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ・ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

③ その他

ア 感染症対策に係る本学の対応について、本学ウェブサイトに掲載しますので、必ず事前にご確認ください。

なお、掲載内容については今後、文部科学省等の通知により一部変更になる場合がありますので、最新の情報をご確認ください。

イ 所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態（自然災害等）が発生し、入学志願者への緊急連絡が必要となった場合は、本学ウェブサイトでお知らせします。

ウ その他連絡の必要が生じた場合は、インターネット出願システムに登録された連絡先に通知します。

## 5 合格者発表

### (1) 発表日時

秋季募集	令和 5 年 11 月 1 日 (水)	10 時
冬季募集	令和 6 年 1 月 26 日 (金)	10 時

### (2) 発表方法

本学ウェブサイト合格者の受験番号および合格通知書の取得方法について掲載します。（以下、このページを「合格発表ページという。」）（掲示による発表はしません。）

電報、電話、郵便、電子メール等による問い合わせには応じません。

（注） 試験当日、試験会場及びその周辺で合格電報等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、その責任を負うことはできません。

## 6 入学手続

### (1) 入学手続方法

入学手続の詳細については、「合格発表ページ」をご確認ください。

(4)の入学手続に要する書類等を一括し、**簡易書留速達扱いの郵送**により提出してください。ただし、(2)の各募集の入学手続期間最終日に限り、直接持参を認めます。なお、受付開始時刻は9時とし、受付終了時刻は17時とします。また、直接持参の場合は、持参する前日までに、本学教学課入試班までご連絡ください。

### (2) 入学手続期間

秋季募集	令和5年11月9日(木)から令和5年11月13日(月)まで(必着)
冬季募集	令和6年3月14日(木)から令和6年3月15日(金)まで(必着)

### (3) 入学手続先

〒719-1197 岡山県総社市窪木111番地 岡山県立大学事務局教学課入試班

### (4) 入学手続に要する書類等

入学手続に要する書類等	作成方法
① 受験票	
② 宣誓書	本学所定の様式を使用し、必要事項を記入の上、必ず押印してください。
③ 住民票記載事項証明書(証明願)	7の(1)の①の「岡山県内の者」に該当する者のみ必要です。 本学所定の様式(市区町村の様式ではありません。)を使用し、居住地の市区町村の関係窓口へ提出して証明を受けてください。
④ 入学料	7の(1)の額の入学料を納付する必要があります。納付方法については合格発表ページにてお知らせします。
⑤ 写真1枚 (学生証作成用)	縦4cm×横3cmの写真(正面上半身無帽、背景なし、カラー)の裏面に専攻名、氏名を記入してください。
⑥ 卒業証明書等	次の出願資格のいずれかに該当する者で、卒業等の見込みで受験したものと(本学出身者は不要) ・出願資格①～⑥ 卒業(修了)証明書又は学位授与証明書 ・出願資格⑩ 成績証明書

(注1) 本学所定の様式については、本学ウェブサイトの合格発表ページをご確認ください。

(注2) ⑥に示す卒業証明書等は、入学資格(2の出願資格(1)の①～⑥及び⑩)の判定資料です。該当者は令和6年3月31日(日)までに必ず提出してください。

### (5) 入学手続上の注意事項

- ① 入学手続は、所定の期日までに完了してください。期間内に手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱います。
- ② 必要な書類の全てがそろっていないものは受付できませんので、書類等の提出の際には十分確認してください。
- ③ 入学手続期間を過ぎて到着したものは受付できませんので、郵送の場合は、所要日数を十分に考慮して発送してください。
- ④ 受付をした入学手続書類は返還しません。
- ⑤ 令和6年4月1日(月)時点で入学資格を欠く場合は、入学を許可しません。

## 7 初年度納付金

### (1) 入学料

入学手続の際には、次の額の入学料を納付する必要があります。

- ① 岡山県内の者 188,000円
- ② 上記以外の者 282,000円

(注1) 「岡山県内の者」は、次のいずれかに該当する者をいいます。

- (1) 令和5年4月1日から引き続き岡山県内に住所を有している者
- (2) 令和5年4月1日から配偶者又は1親等の親族が引き続き岡山県内に住所を有している者

(注2) 「岡山県内の者」とは、居住地の市区町村長の証明を受けた「住民票記載事項証明書」により判断します。なお、(注1)の(2)に該当する者及び令和5年4月2日以降に県内で移動した者は、追加で提出していただく書類がありますので、本学教学課入試班へお問い合わせください。

(注3) 入学料の改定があった場合は、改定後の入学料が適用されます。

(注4) 納付された入学料は、次の(1)から(3)までの場合を除き返還しません。返還する場合の返還額は納付された入学料相当額とします。入学料の返還は納付した者からの請求に基づき行いますので、該当者は本学教学課入試班へ連絡し、令和6年3月19日(火)までに必要な手続(入学料納付証明書が必要です。)をとってください。(2)の場合は本学教学課入試班から該当者に連絡します。

- (1) 入学料を納付したが、入学手続をしなかった場合
- (2) 入学料を納付したが、入学手続が完了しなかった場合
- (3) 入学料の額を誤って納付した場合

### (2) 授業料

- ① 金額 (年額) 535,800円
- ② 納付方法 入学後に、前期、後期の2回に分けて納付していただきます。
- ③ 納付時期 前期 7月末、後期 11月末

(注) 授業料は、原則として口座振替により納付していただくこととなりますので、入学時に必要な手続きをお願いします。納付された授業料は返還しません。

なお、授業料の改定があった場合は、改定後の授業料が適用されます。

### (3) 保険料、後援会費、同窓会費

- ① 金額

保険料※	後援会費	同窓会費
2,430円(2年分)	42,000円 入会金20,000円 +会費(2年分)22,000円	10,000円 (入会金)

※学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険の保険料((公財)日本国際教育支援協会が主催)

(注)本学を卒業した者(見込みを含む。)は、後援会入会金及び同窓会費を納付する必要はありません(下線部分)。

- ② 納付方法 入学手続時に、金融機関から納付してください。納付方法については別途お知らせします。ただし、入学を辞退した場合は返還します。

## 8 学位記に付記される分野の名称

岡山県立大学大学院デザイン学研究所修士課程を修了した者は、修士の学位が授与されます。その際、学位記に付記される分野の名称は、「デザイン学」です。

## 9 社会人の履修について

大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第15条に基づき、職業を有している等の事情による修学の困難さに対して標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程の履修を認める「長期履修学生制度」を設けています。

長期履修学生となるためには、長期履修の許可申請を行い、大学から許可を受ける必要があります。長期履修学生として許可を受けた場合は、長期履修期間の延長、長期履修の取消・中止、授業料の減免・徴収猶予の申請ができなくなりますので、事前に担当指導教員に相談し、所見を得た上で許可申請を行うこととなります。

## 10 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

## 11 奨学金及び授業料の減免等について

奨学金及び授業料の減免等については、入学後相談に応じます。入学後に本学教学課学生支援班にお問い合わせください。

## 12 個人情報について

本学が入学者選抜等において取得する個人情報は、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）及び本学の規程に基づき取り扱うとともに、次の業務で利用します。

- ① 出願に当たって知り得た個人情報は、入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格者発表、入学手続及びこれらに付随する業務を行うために利用します。また、入学者選抜で用いた試験成績等の個人情報は、選抜方法の検討や大学教育の改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。ただし、調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
- ② 本学の入学手続を完了した者の個人情報は、入学後における教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請、就職支援等）及び授業料等の徴収に関する業務を行うために利用します。
- ③ 本学合格者の個人情報は、本学の関係団体である同窓会及び後援会から本学合格者に連絡を行うために利用します。
- ④ 上記のうち一部の業務を本学から業者に委託することがあります。業務委託に当たり、当該業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。



### Ⅲ 岡山県立大学大学院デザイン学研究所（修士課程）の案内

#### デザイン工学専攻の概要

##### 専攻の教育・研究

デザイン工学専攻では、学部でのプロダクトデザインコース、建築デザインコース、情報デザインコース（平成25年度より、製品・情報デザイン領域と建築・都市デザイン領域に改編）を基礎にして、各コースに対応する次の2修士領域を設け、更に造形デザイン学専攻との共通科目を設けています。各領域は、互いに連携しながら専門領域の深化を図るとともに、近年の技術革新並びにデザインニーズの高度化と多様化に対応したデザイン理論の深化とデザイン手法の革新を図り、高度な専門的知識、能力、技術を備え、総合的視野を持った高度専門職業人としてのデザイナー及び研究者を養成するための教育・研究を行います。

##### 【製品・情報デザイン学領域】

学部のプロダクトデザインコース並びに情報デザインコースの教育と接続する課程を準備しています。具体的には、従来の経済性、機能性に加え、地球環境保全、成長と転変の著しい情報化や社会の成熟化への対応等の新たな社会的課題に対応できる実践的なデザイン手法や方法論について学びます。そのため、最新の技術革新や情報化関連知識と、生活者、市場性、生産現場などを見据えた経済・産業分野への理解力に基づき、グローバルかつローカルな視座に立った高度専門職業人としてのデザイナー及び研究者の養成に必要な教育・研究を行います。

##### 【建築・都市デザイン学領域】

人間の行動、生活に必要な室内空間から地域・都市空間までの広い住環境空間を対象としています。21世紀における重要な考え方として、地球環境における環境負荷低減を目指した持続可能な都市・建築、また超高齢社会におけるユニバーサルデザインに対応した住環境空間の創造などが挙げられます。そのため、学部での構造・法規・施工といった実務理論の延長的な内容だけでなく、他学領域との学際的な融合と創造を目指して、質の高い魅力ある建築・都市、住環境空間を提案できる高度専門職業人としてのデザイナー及び研究者の養成に必要な建築デザイン領域の教育・研究を行います。

##### 【専攻共通】

各デザイン領域との関連を念頭に置き、美学・美術史系を中心に研究手法そのものも対象としつつ、教育・研究を行い、本質的に人間が持っている美意識の顕在化を目指すことにより、現代における造形文化を全体的かつ根本的に考察し、解明するための視座の獲得を図ります。美学領域では、美と芸術と感性を主題にする美学理論に基づき、特に装飾・服飾・意匠等を芸術境界領域として重んじ、デザイナーとして幅広い視野と構想力を身につけるための教育・研究を行います。

## 造形デザイン学専攻の概要

### 専攻の教育・研究

造形デザイン学専攻は、学部学科教育で学んだビジュアルデザイン領域や造形デザイン領域における研究を基盤として、視覚伝達、生活空間、空間演出など人間との関わりにおけるデザイン環境の在り方をより深く探求するために、さらに高度な専門知識・技術力を修得し、新たな造形デザイン構築のための課題発見能力や課題解決能力を育み、総合的な視点から価値創造を生み出す人材を育成します。また、デザイン工学専攻との共通科目群を置き、造形デザインの共通基盤となる美学を初めとする理論や思考における教育を通して、それぞれの専門的研究の深化を図ります。

### 【造形デザイン学領域】

印刷メディアを主体とした造形構成・編集、デジタルメディアを主体としたコンテンツ形成、生活空間を構成演出するアイテム制作、現代を意識した造形表現を基盤として、デザインの可能性や造形への挑戦を目指します。そして、グラフィック、Web、動画、セラミック、テキスタイル、木材などの分野や材料を融合的に扱いながら、社会に求められるデザインとして専門的かつ総合的な研究に取り組みます。

### 【専攻共通】

各デザイン領域との関連を念頭に置き、美学・美術史系を中心に研究手法そのものも対象としつつ、教育・研究を行い、本質的に人間が持っている美意識の顕在化を目指すことにより、現代における造形文化を全体的かつ根本的に考察し、解明するための視座の獲得を図ります。美学領域では、美と芸術と感性を主題にする美学理論に基づき、特に装飾・服飾・意匠等を芸術境界領域として重んじ、デザイナーとして幅広い視野と構想力を身につけるための教育・研究を行います。

## 研究指導可能教員と主な研究課題

### 1 デザイン工学専攻

(令和6年度予定)

領域	職名及び氏名	専門および主な研究課題
製品・情報デザイン学領域	教授 三原 鉄平	プロダクトデザイン (1) 地域産業におけるプロダクトデザインの研究 (2) デザイン評価
	教授 南川 茂樹	クラフトデザイン、家具デザイン (1) 木材を中心としたクラフトデザインの研究 (2) 間伐材の需要拡大のための家具デザインの研究
	准教授 船山 俊克	プロダクトデザイン (1) 新領域への開発提案 (2) 新素材開発からの製品化および商品展開に関する研究
建築・都市デザイン学領域	教授 津田 勢太	建築、構造デザイン (1) 可変構造体システムに関する研究 (2) シェル・空間構造の形態デザインに関する研究
	教授 西川 博美	建築、都市デザイン (1) 台湾に関する近代建築史・都市史研究 (2) 都市計画史研究
	教授 福濱 嘉宏	建築、構法デザイン (1) 地域固有の建築構法に関する研究 (2) 日本・近世の建築構法に関する研究
	教授 向山 徹	建築、建築デザイン (1) 環境としての建築に関する研究（理論と実践） (2) 閑谷学校の歴史的・文化的価値に関する研究
	教授 吉田 豊	建築、建築デザイン (1) 場を活かした建築空間に関する理論及び実践研究 (2) ドイツ近代建築における造形システムに関する研究
	准教授 岡北 一孝	建築、建築史 (1) ルネサンス期の彫刻家・建築家による建築創作手法の特質の解明 (2) 建築における古典主義の諸相

## 2 造形デザイン学専攻

(令和6年度予定)

領域	職名及び氏名	専門および主な研究課題
造 形 デ ザ イ ン 学 領 域	教 授 河合 大介	美学、美術史 (1)20世紀の英語圏における美学 (2)1960年代の日本および米国における美術史
	教 授 北山 由紀雄	写真デザイン (1)写真作品の展示方法に関する研究 (2)展示効果の研究、写真技法の歴史とその表現に於ける活用に関する研究 (3)スティッチング技法を活用した写真表現に関する研究
	教 授 齋藤 美絵子	映像デザイン (1)防災・減災のための情報提供におけるデジタル技術の活用 (2)映像コンテンツと視聴環境の関係
	教 授 島田 清徳	テキスタイルデザイン (1)異領域とのコラボレーションによる空間演出 (2)テキスタイルにおけるアートとデザイン
	教 授 関崎 哲	洋画、版画 (1)絵画・版画を主体とするビジュアル表現の研究と制作 (2)造形・美術鑑賞教育に関する研究
	教 授 野宮 謙吾	グラフィックデザイン、タイポグラフィ (1)シンボルマーク・ロゴタイプを中心としたグラフィックシンボル及びV I の研究 (2)書体のイメージに関する研究
	准教授 風早 由佳	英語教育、アメリカ文学 (1)アメリカ詩における声の機能 (2)英米児童文学の詩と挿絵の関係 (3)早期英語教育
	准教授 作元 朋子	セラミックデザイン (1)陶磁器の造形及びセラミックデザインの研究
	准教授 西田 麻希子	グラフィックデザイン (1)グラフィックデザインにおけるユーモア表現の研究
	准教授 真世土 マウ	セラミックデザイン (1)古代中南米土器 (2)陶磁器デザイン

<参考>

履修案内・シラバス・教育研究者総覧は本学ウェブサイトにて閲覧可能です。

○履修案内 <https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-353/page-910/>

【閲覧方法】 ウェブサイト「岡山県立大学」>大学案内>教育情報の公表  
>授業科目、授業内容、授業計画に関すること>履修案内

○シラバス <https://www.oka-pu.ac.jp/syllabus/index.html>

【閲覧方法】 ウェブサイト「岡山県立大学」>大学案内>シラバス

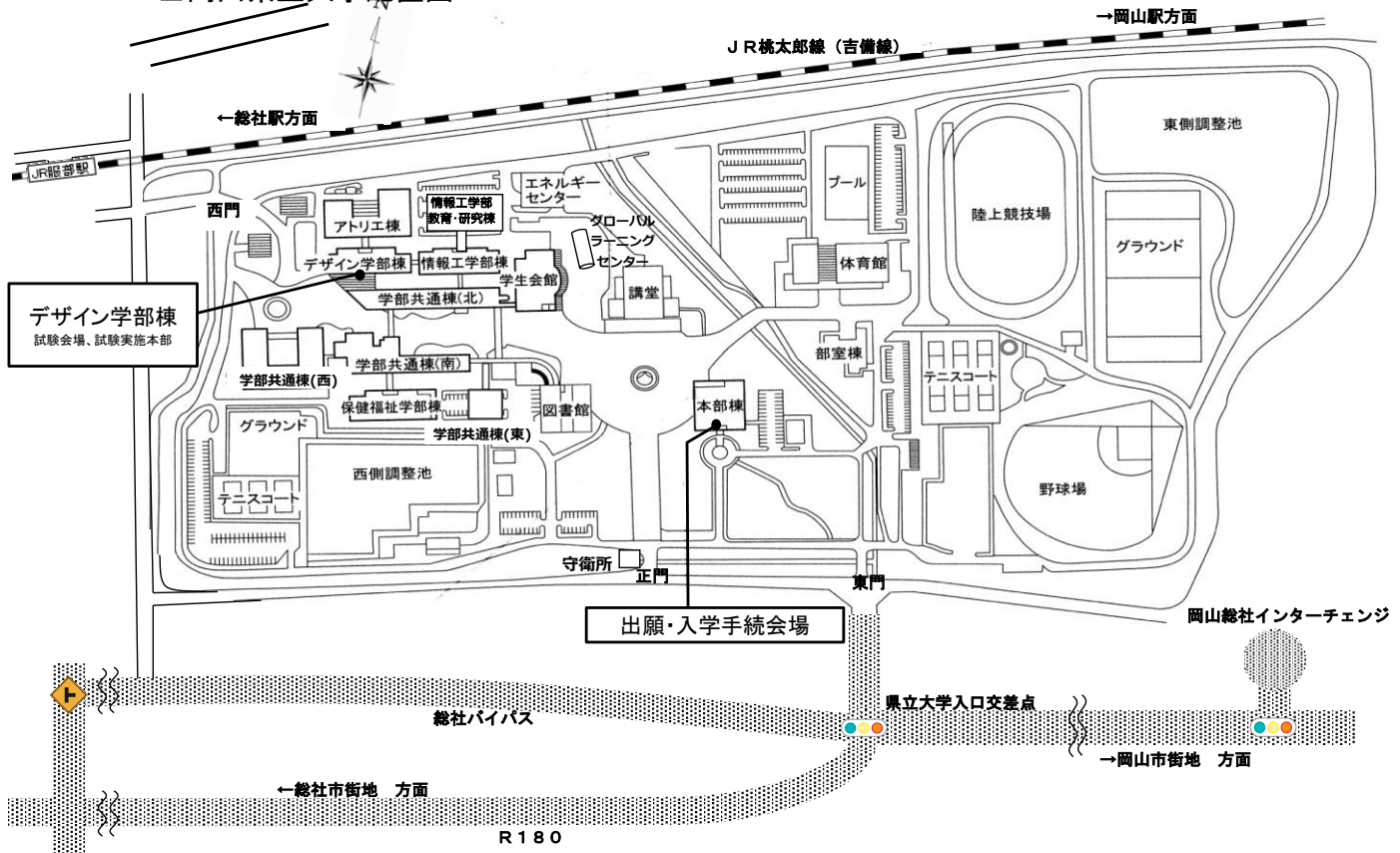
○教育研究者総覧 <https://gdata.oka-pu.ac.jp/search/index.html?lang=ja&template=templatee>

【閲覧方法】 ウェブサイト「岡山県立大学」>大学案内>教育・研究者データベース

## IV 試験会場の配置図及び案内図

### ■岡山県立大学配置図

※大学の敷地内は、全面禁煙です。



### ■試験会場案内図



#### 《交通案内》

- JR桃太郎線 (吉備線) ・ 服部駅 (JR岡山駅から約30分、JR総社駅から約8分) 下車、徒歩5分
- 岡山自動車道、岡山総社ICから約2.5km
- 岡山市街から約1.8km (国道180号経由)、倉敷市街から約1.2km (国道429号経由)

出願・受験・その他に関するお問い合わせ先

## 岡山県立大学事務局教学課入試班

〒719-1197 岡山県総社市窪木 1 1 1 番地

TEL 0866-94-9161 (直通)

0866-94-2111 (代表)

ウェブサイト <https://www.oka-pu.ac.jp>

電子メール [nyushi@oka-pu.ac.jp](mailto:nyushi@oka-pu.ac.jp)